

令和 5 年 12 月 4 日

見附市議会議員 様

見附市議会議員 信賀 陽子

一 般 質 問 通 告 書

下記のとおり質問したいので、会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により通告します。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【 1 】 帯状疱疹の予防に対する見附市の取り組みについて

答弁を求める者 市長

近年、帯状疱疹が増加傾向にあると言われてしています。

その原因としては、小児の水痘ワクチンの接種が 2014 年 10 月に定期接種化されたことで水ぼうそうの発生件数が減少し、子どもも大人も水痘・帯状疱疹ウイルスにさらされる機会が減ったためウイルスに対する抗体が維持できない状態になっていることや、ストレスなどが考えられています。

また、帯状疱疹の発症に関する新たな大規模観察研究が米国で 2020 年に実施され、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) が 50 歳以上の成人で帯状疱疹の発症のリスクを高める可能性があることが報告されています。

帯状疱疹は、水ぼうそうと同じウイルスで起こる皮膚の病気です。

免疫力が低下すると水ぼうそうのウイルスが再活性化し、皮膚に激しい痛みを伴う水ぶくれや発疹 (はっしん) ができ、80 歳までに 3 人に 1 人が発症するとされています。50 歳以上の中高年層に多く発症しますが、若い人も発症し、20 代から 40 代の方の発症が増加傾向にあることも近年の特徴とされています。

日本人の 90% 以上は、帯状疱疹の原因となるウイルスが体内に潜伏しており、帯状疱疹を発症する可能性があります。

そして、50 歳以上で帯状疱疹を発症した人のうち約 2 割は 3 か月以上痛みが続きます。これは帯状疱疹後神経痛 (PHN) という後遺症で、睡眠や日常生活に支障をきたすこともあります。

帯状疱疹にならない体づくりのためには、食事バランスに気を付ける、睡眠をきちんととるなどの規則正しい生活習慣、適度に体を動かすことなどが大切とされ、それ以外に予防接種が可能で、特に 50 歳以上の人へのワ

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイ



クチンによる予防がすすめられています。

今年の6月26日から接種対象が広がり、従来の50歳以上の人に加えて罹患のリスクが高い18歳以上の人にもすすめられています。

現在、「シングリックス」という有効性の高い不活化ワクチンが利用でき、シングリックスの2回接種によって带状疱疹を予防する効果は接種後1年間で約98%、8年後でも約84%とされています。

このように、带状疱疹は多くの人にとって発症する可能性が高く、重症化や後遺症の可能性もある病気である一方で、予防が可能な病気であると言えます。

誰もが健康に暮らせる社会を構築することを目指す、見附市の带状疱疹の予防に対する取組み状況はいかがでしょうか。

以上の観点により質問をいたします。

- 1 コロナ禍において带状疱疹が増加傾向にあります。見附市は市民の带状疱疹の罹患状況について実態の把握に努められているのか伺います。
- 2 見附市は带状疱疹という病気についての情報、及び带状疱疹ワクチンの情報を市民に積極的に提供していますか。提供している場合どのように提供していますか。どのような媒体を使ってどこで提供しているのかなど具体的にお聞かせ下さい。
- 3 見附市に市民から带状疱疹ワクチンについての問い合わせはありますか。ある場合はどのくらいの件数があるかお聞かせ下さい。
- 4 見附市立病院では带状疱疹ワクチン接種をされる方が2020年のコロナ禍以降どのくらいいるのかお聞かせ下さい。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【2】 コミュニティバス利用の中学生以下無料化事業について

答弁を求める者 市長・教育長

小中学生にコミュニティバスを積極的に活用してもらうことで、子どもたちの活動の範囲と選択肢の拡大と推進することを目的とし、コミュニティバス利用の中学生以下無料の事業が7月1日より開始されました。「地域の魅力や郷土愛の醸成につながることを期待するもの」ともされています。

令和5年3月議会では、「コミュニティバスの無料化により、コミュニティバスを利用することでプレイラボみつけに来ることも可能になる」との答弁もあり、プレイラボ利用の相乗効果も期待される事業です。

事業がスタートし、夏休み期間中には「小学生の子ども同士でコミュニティバスを利用してプレイラボみつけに通っている。」という有効活用の事例も聞いております。

しかし、残念ながら、市民の方から批判や不満のお声も聞いております。

その中の一つに「小中学生がバスに乗ってどこに行くのか？買い物に行くとしても考えるのか？ねらいが分からない。」という厳しい批判の意見も耳にしています。

確かに、小中学生がバスに乗ってどこに行くことをイメージしているのが漠然としています。また、事業の目的そのものもスローガンのようなものであり具体的ではないため、現状では市民の方から理解を得られにくく、その結果、不満の声が聞こえてくるのではないかと考えます。

以上の観点より質問をいたします。

- 1 この事業の目的、市が何を指して始めたのかを今一度、具体的に教えて下さい。目的として「子どもたちの活動の範囲と選択肢の拡大と推進」とありますが、選択肢とは何を指しているのか伺います。また、この事業による市民のメリットは何か伺います。
- 2 無料化の事業開始以降、子どもたちのコミュニティバスの利用状況はどう推移していますか。その利用状況をどのように考えているのか伺います。
- 3 子どもたちが公共交通を利用する際、特に小学生については子どもらしい失敗やトラブルが起こり得ます。子どもたちのバス利用について、現在までにトラブルや困りごとはありますか。また、他の利用者からの苦情や相談はありますか。
- 4 この事業に対し市民からの不満や苦情、意見や問い合わせはありますか。
- 5 この事業が現状で良いとお考えかどうか、今後この事業はどのような展開を予定されているのか市の見解を伺います。